

# 社会福祉学科

高齢化の進展、貧困や発達障害など生きづらさの拡大と、私たちの地域社会が抱える課題は大きくなっています。その課題を解決するために、「我が事・丸ごと地域共生社会づくり」が提唱され、その中心的役割をソーシャルワーカーが果たすことが期待されています。社会福祉学科では、支援が必要な方や地域の課題を理解し、適切な相談支援と地域づくりをするための理論と知識、技術を学び、実践できる能力を身につけます。ソーシャルワーカーとして活躍するために必要な国家資格である「社会福祉士」「精神保健福祉士」の取得が可能です。

## 取得できる資格

■ **国家資格** ※実習免除制度あり→詳しくは「募集要項」をご覧ください。

### 社会福祉士 受験資格

社会福祉分野で幅広く相談支援を行う国家資格です。現在、地域共生社会の実現に向けて、社会福祉士のニーズが高まっています。どこでも活躍できるソーシャルワークのマルチプレイヤーを養成します。

#### 主な就業先

福祉施設(高齢者・障害者・児童など)、社会福祉協議会、医療機関、行政機関、地域包括支援センター、NPOなど

### 精神保健福祉士 受験資格

いわゆる精神科ソーシャルワーカー(PSW)と呼ばれる専門職の国家資格です。心に病を抱える方の相談に応じ、社会復帰や社会参加の支援を行います。関係法改正により、医療・保健・福祉など活躍の場が広がっています。

#### 主な就業先

精神科病院、福祉施設(精神障害者・障害児など)、スクールソーシャルワーカー、保護観察所など

■ **任用資格**

### 社会福祉主事

#### 主な就業先

福祉施設(高齢者・障害者・児童など)、市町村福祉課、社会福祉協議会など

### 児童指導員

#### 主な就業先

障害児施設、児童養護施設など

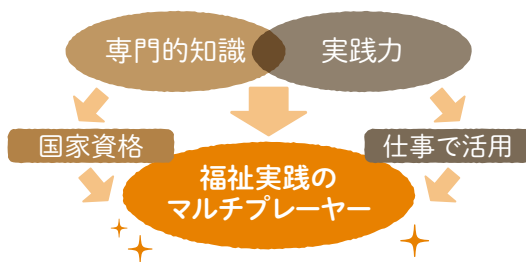
### 知的障害者福祉司

#### 主な就業先

知的障害者更生相談所、福祉事務所など

## 社会福祉学科の学び

本学科では、理論と実践の学びから問題を発見し、それを解決できる能力を身につけ支援できるソーシャルワーカーを育成します。単に知識を学ぶのではなく、ロールプレイや実習を通じての実践力を養い、現場を意識した学びを提供します。



## 1 福祉の理論を学ぶ



社会福祉学を中心としながらも、幅広い専門領域の教授陣による多様な学問から福祉にアプローチします。

## 2 福祉の実践力を養う

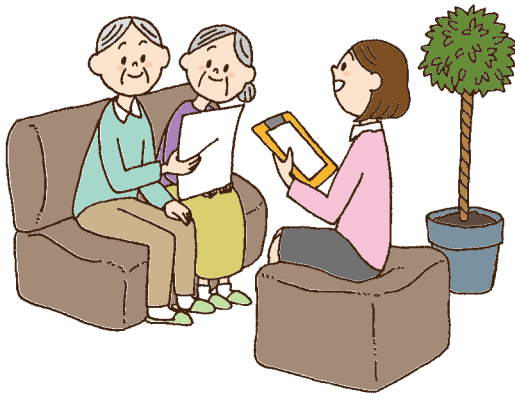


単に専門的知識を学ぶだけではなく、全国トップクラスの充実した教育環境で、実習、ロールプレイなどにより、実践を意識した学びを深化させます。

## 3 資格取得でキャリアアップ



受験対策講座など資格取得に向けた充実した指導体制。資格取得に配慮したカリキュラム編成をしています。資格を取得した多くの卒業生が、全国の医療・福祉分野で活躍しています。



## 学科長からのメッセージ

Message for you

## 社会福祉学科で学べる科目

社会福祉の歴史と基本的な理念を学ぶ科目、領域ごとの制度や対象者理解を学ぶ科目、ソーシャルワーク技法を身につける科目、社会福祉の諸分野を学ぶ科目があり、その一部を紹介します。

### 社会福祉原論

「社会福祉とは何のため・誰のためにあるのか」自らの社会福祉観を問い直しながら、社会福祉のあるべき姿を探求していきます。

### 社会福祉援助技術総論

「ソーシャルワーク」「社会福祉士」「相談援助」とは何か。年々多様化する人々のニーズに応えるにはどうあるべきかを考えます。

### 児童・家庭福祉論

子どもの福祉の実現には、子どもを取り巻く家庭や環境の福祉も重要です。児童虐待、DV、貧困などの実態と解決策を学びます。

### 介護概論

介護の概念、社会福祉の基本理念を踏まえたうえで、人間の尊厳を重視した高齢期の生活支援のあり方、介護の本質を再考します。

### 精神保健福祉援助技術総論Ⅰ

精神保健福祉相談援助の基盤として、精神保健福祉士の役割と意義、相談援助の概念と範囲、理念を学びます。

### 就労支援サービス論

労働を福祉的視点から理解し、トータルな社会福祉援助として「就労支援」ととらえ、支援の現状と課題、有効な支援策を考えます。

### 更生保護制度論

犯罪者・非行少年の再犯防止、改善・更生を目的とした「更生保護制度」の制度趣旨と社会福祉との関係性、運用方法を学びます。

### 社会保障論

私たちの生活を守る幅広い社会保障制度（年金・生活保護・医療・雇用ほか）の意義・役割や制度の内容を学びます。

今、日本の社会福祉は大きな変わり目にあります。これまでの施設、介護あるいは高齢者、障がい者などというイメージから大きく離れた、私たち市民すべてが、高齢になったり、災害や失業に見舞われたり、生活に何らかの障がいが生じたりしても、地域でよりよい生活を続けていくことを支援する、「地域包括支援」システムの構築が求められているからです。

この多職種、多機関で構成されるシステムの中で、期待される私たちの役割は、人々の生活ニーズを把握し、必要な支援を計画し、これらと結びつけること、そしてこれらの多職種、多機関の連携をコーディネートしていくことです。このような活動をソーシャルワークといいます。これからの私たちは、地域包括支援システムにおいてソーシャルワークを展開する、ソーシャルワーカーとなるのです。言うまでもなく医師や看護師などの他の専門職と同様、「社会福祉士」「精神保健福祉士」資格を有していることは必要条件です。

社会福祉学科では、これまでの社会福祉教育の伝統の上に、新たな時代に求められるソーシャルワーカーの養成とソーシャルワークという科学を教育していきます。皆さんもソーシャルワークを学ぶ学生としての誇りを胸に、学習に、学問に励み、楽しんでください。資格は学修の結果についてくるものです。

## 三浦 剛

Tsuyoshi Miura

教授

### 【主な研究テーマ】

支援者としての態度形成、社会資源開発法などを修得するための研修プログラムと、測定尺度、ポートフォリオ評価などからなる研修の効果測定法を開発。

### 【最終学歴】

日本社会事業大学 大学院社会福祉学研究所 博士後期課程修了



## Interview

# 社会福祉とは 高齢者だけではなく 幅広く全人的な支援であることを 学習の中で気づきました

### 及川 のぞみさん

宮城県宮城郡 在住

1年次入学

グループホーム 勤務



2011年3月11日に東日本大震災が発生しました。その頃、介護の仕事に就いていましたが、未曾有の大災害を経験したことで、自分自身を見つめなおす機会となりました。自分がやりたい仕事は何なのかと悩み、ソーシャルワーカーとの出会いから社会福祉士をめざそうと決意しました。社会福祉士の資格取得と大学卒業(学士)を目標に東北福祉大学通信教育部へ入学を決めました。

入学当初は、通信教育での学習方法がわからず苦労しました。そもそも何から勉強すれば良いのか、これまでレポート学習など経験がなかったため、自学自習することに戸惑いを覚えました。そんな時、大学で開催された「学習ガ

イダンス」に参加し、学習方法やレポートの書き方の指導を受け、レポートに何を書けば良いのか理解することができました。学習を進めていくうちに、自分の中で社会福祉のイメージが大きく変化していきました。これまで福祉といえば高齢者のイメージがあったのですが、実際には、もっと幅広く全人的な支援であることに気づきました。この「気づき」により、相談援助において個人を尊重することの重要性を学ぶことができたのだと感じています。

今後は、社会福祉士の国家試験に向けて勉強に励みたいと思います。大学での国家試験対策講座を受講し、目標であった社会福祉士になるため頑張ります。

## 教員

教員が卒業と資格取得をチームで支えます 通信教育部では専任の講師陣、



教授  
田中 治和

〈主な担当科目〉  
「社会福祉原論」  
「人権と福祉」「福祉思想論」  
「社会福祉援助技術演習」ほか



教授  
阿部 裕二

〈主な担当科目〉  
「社会保障論」  
「公的扶助論」ほか



准教授  
志村 祐子

〈主な担当科目〉  
「精神保健福祉援助技術  
総論I・II」「精神保健福祉  
援助演習」ほか

# 通信教育ならライフスタイルに合った学習が可能です。

## 及川 のぞみさんの学習プラン

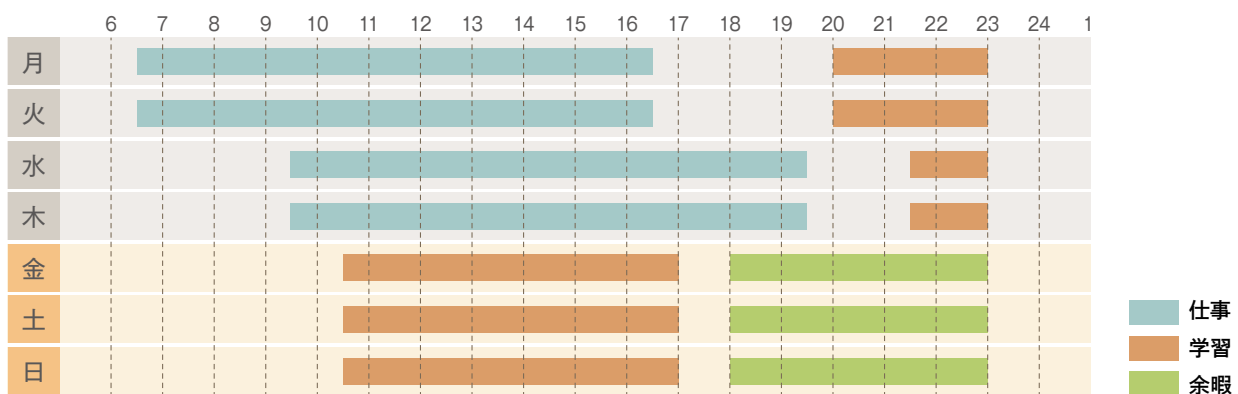


### 平日2~3時間・休日は6.5時間 メリハリをつけて学習しています

現在、週4日間の勤務体系で、早番と遅番、週末に勤務することもあり少々不規則な時間で働いています。しかし、年間で決まっている予定を確認し休日を調整することで、スクーリングを受講しています。毎日の学習時間を確保することは大変ですが、一歩ずつ自分のペースで学習しています。



### 1週間のスケジュール



### 私が入学1年目にかかった費用(参考)

- ・初年度納付金: 160,000円
- ・スクーリング受講料: 40,000円

合計 **200,000円**

初年度の学習ですが、スクーリング受講を控えめに選択しました。そのため、費用負担は少なめでした。その分、2年目からは多くのスクーリングを受講し、学習を進めました。



各分野のスペシャリストを揃え、みなさんの学習をサポートします。



准教授  
竹之内 章代

〈主な担当科目〉  
「社会福祉援助技術演習」ほか



准教授  
石附 敬

〈主な担当科目〉  
「高齢者福祉論」  
「社会福祉援助技術演習」ほか



准教授  
後藤 美恵子

〈主な担当科目〉  
「介護概論」ほか